	事務事業 ■サービス部門 いっこりははない。ことはは、こことは、こことはは、こことは、ことは、													
事務事業		``健福	-42 健康情幸	最システム構築	•運用事業									
No./名 称	口支 援 部	門。	12-11111											
主管課	市民健康課			関連課			保防	食年金課、高	齢者いき	いき課				
分野名	健康福祉													
目標	受診券発送から総合判定結果通知までのシステムの構築により市民の健康診査のデータ管理をし、市民の健康維持に努													
(目標値)	න්රිං													
人口等の	データ区分 23年度 21年度 備 考													
データ	人口	1	77,204人	1	77,161人		176,669人			・各年4月1日				
	世帯数	79),217世帯	78	,812世帯			78,131世帯	÷	(住民基	基本台帳)		
	事業の対象者数	1:	23,587人	12	122,581人			121,888人						
運営資源	決算値(千円)	17	7,801千円	17	17,496千円			19,108千円						
状 況	(国・県)		0千円		0千円			334千円						
	(負担金等)		0千円		0千円			0千円						
	(一般財源)	17	7,801千円	17	17,496千円			18,774千円						
	人員配置数	0.7人		0.7人			0.7人							
	人 件 費(千円)		,030千円	6,	6,157千円			6,493千円						
協働		ΝΊ	「Tアイティ	NT	NTTアイティ			NTTアイティ						
	パートナー													
事務事業	総事業費(千円)	23	3,831千円	23	23,653千円			25,601千円						
運営経費	市民1人当				!									
	りの経費(円)		134円		134円			145円						
	対象者1人													
	当りの経費(円)		193円		193円			210円						
ベンチマーク	団体名⇒													
(県内外自治体														
や民間団体と														
の比較値)														
指	標	評価	年度	21年度	22年度	Ę		23年度	24:	年度	最終:	丰度(年度)		
同一システ	ムの構築		目標値				144.66		再検討					
		Δ		検討	検討準	備		構築						
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		_	実績値											
評価のポイント	·													

	評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。		事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的 な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
			事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した 場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

ド 事素に含まれる小事素の計画(予値) 事業の依安は表面/													
小事業名	H23決算値	評価				5の視点を参照		⇒	方向性		· 拡大 B: ·縮小 E: 序		:改善・見直し
M. C. L.	17,801千円	①効率性	〇 ②妥当性	0	③有効性 〇	④公平性	0	\Rightarrow	□A	∎В	□С	□D	□E
健康情報システム構築・運用事 業	事業の概要		送から総合判定 健康維持に努			一連の業務	をシ	ステム	テム構築するこ	ことにより	り、市民の	健康診査の	データ管理を
		①効率性	②妥当性	(3有効性	④公平性		⇒	□A	□В	□C	□D	□E
	事業の概要												
		①効率性	②妥当性	(3有効性	④公平性		⇒	□A	□В	□C	□D	□E
	事業の概要												
		①効率性	②妥当性	(3有効性	④公平性		⇒	□A	□В	□C	□D	□E
	事業の概要												
		①効率性	②妥当性	(3有効性	④公平性		⇒	□A	□В	□С	□D	□E
	事業の概要												

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	生涯にわたる健康管理・健康づくりを目標としているが、現在は20歳以上の市民の健康情報と、母子・妊婦等の健診等の情報が同一システムに構築できていないため、家族単位・地域での状況判断ができない。
	健康管理システムの更新やホストコンピュータの変更による影響等を調査し、それらを踏まえたうえで、協働のパートナーと同一システム化へ向けた協議・検討を行った。
未解決の課題	前年度に引き続き、20歳以上の市民の健康情報と、母子・妊婦等の健診等の情報を管理できる同一システムを構築する必要がある。

中事業の評価と今後の方向性

	適切=○ 要改善=△ (評価の視点 を参照)	①効率性	0		A:充実·拡大 B:現状継続C:改善·見直UD:統合縮小 E:ß	※□事業完了		
		②妥当性	0	今後の	引き続き、システムの構築に向け、関連課と協議、検討を 進める。	1	課長等名	
中事業の計画		③有効性	0	方向性		В	市民健康課長	
		④公平性	0			В	大澤 一則	

(2面) 個別事業の概要 (単位:千円)

(2回) 恒別事							(単位:十円)
小事業名		ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評	価結果
	-	1251	データ管理等委託料	5,802	5 901	■適切	□見直し余地あり
			受診券作成等委託料				
				10,970		■適切	□見直し余地あり
		1351	同封物作成業務委託料	1,327	1,304	■適切	□見直し余地あり
	÷						
	主な個別						
	個						
健康情報システ ム構築・運用事	別						
ム構築・運用事	事						
業	業						
						□適切	□見直し余地あり
	÷						
	エか						
	個						
	主な個別事						
	事						
	· 業						
						□適切	□見直し余地あり
	±						
	た						
	主な個別						
	別						
	事						
	業						
						□適切	□見直し余地あり
	主						
	な						
	主な個別事						
	別						
	事						
	業						
						□適切	□見直し余地あり
	主						
	主な個別事						
	個						
	別						
	事						
	業						
œ.						i.	